

農業経営統計調査の見直し（還元資料の充実）

（還元資料イメージ）

▪ 営農類型別経営統計客体用	1
▪ 生産費統計調査客体用	9
▪ 還元資料要望一覧	18

お宅の経営の内容

表1 お宅の経済の総括(〇〇様)

平成20年(1~12月)のお宅の経営の内容です。

区分	〇〇様			地域平均 水田作付面積3.0~5.0ha		
	20年 (千円)	19年 (千円)	対前年 増減率 (%)	20年 (千円)	19年 (千円)	対前年 増減率 (%)
農業租収益		
合計 ①		
稲作		
麦類		
野菜		
共済・補助金等受取金		
農業経営費		
合計 ②		
農機具		
肥料		
光熱動力		
農業薬剤		
農業所得 ③ = ① - ②		
農業生産事業		
収入 ④		
支出 ⑤		
所得 ⑥ = ④ - ⑤		
農外		
収入 ⑦		
支出 ⑧		
所得 ⑨ = ⑦ - ⑧		
年金等収入 ⑩		
総所得 ⑪ = ③ + ⑥ + ⑨ + ⑩		
租税公課諸負担 ⑫		
可処分所得 ⑪ + ⑫		

客体により異なる

お宅と同様の経営規模の地域平均結果を参考に掲載しました。

区分	単位	〇〇様			地域平均 水田作付面積3.0~5.0ha		
		20年 (千円)	19年 (千円)	対前年 増減率 (%)	20年 (千円)	19年 (千円)	対前年 増減率 (%)
経営耕地面積	a		
うち借入地	"		
水田作付延べ面積	"		
稲作作付面積	"		
麦類作付面積	"		
水稲生産量	kg		
月平均農業経営関与者数	人		
自営農業労働時間	時間		
うち家族	"		

客体により異なる

お宅の経営内容の分析

農業所得率	%				...
農業経営関与者一人当たり	千円				...
家族労働1時間当たり	円				...
経営耕地面積10a当たり	千円				...
水田作付延べ面積10a当たり	"				...

【租税公課諸負担とは】

国、県、市町村税や社会保険料などのことです。

【可処分所得とは】

お宅で消費や貯蓄などに自由に振り向けられる所得のことです。

【農業経営関与者とは】

農業経営主夫婦及び年間60日以上当該農家の農業に従事する世帯員である家族です。
15歳未満の世帯員及び高校・大学等への就学中の世帯員は、年間の自営農業従事日数が60日以上であっても農業経営関与者とはしていません。

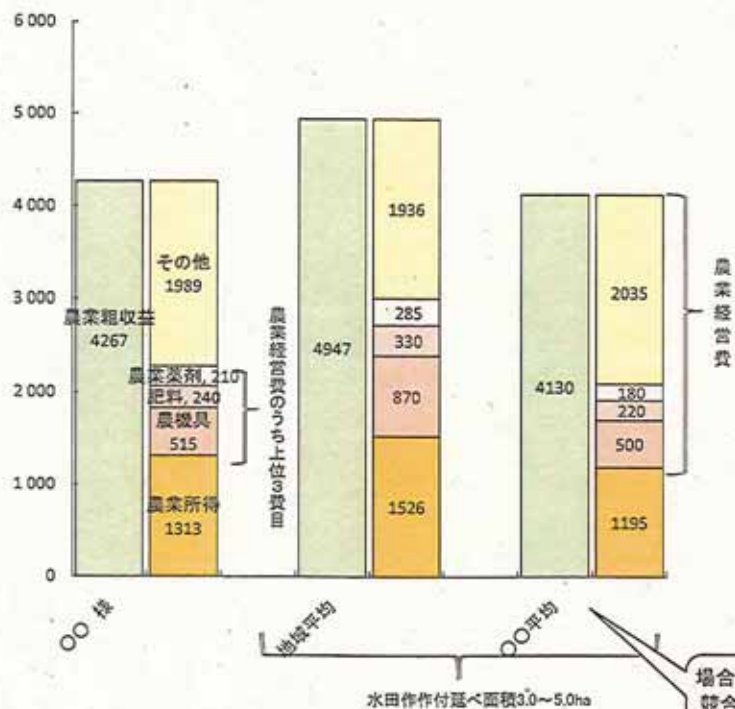


お宅の農業所得を地域平均、全国平均と比較しました。

コメント

図1 同規模の水田作経営と〇〇様の農業所得等の比較

(千円)



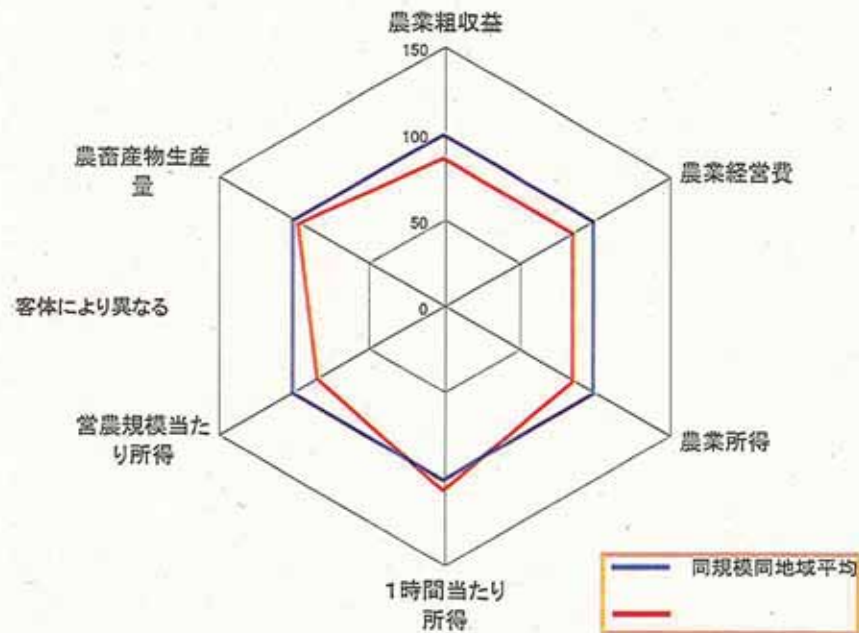
場合によっては、競合産地平均との比較もあり。

コメント



同規模の地域平均を100とした時のお宅の経営内容です。

図2 農業経営における主要項目の比較(同規模地域平均=100)



◎ 図2は、農業経営における指標となるデータを、同規模の地域平均を100とした場合と〇〇様の比率をレーダーチャートで示したものです。
 農業経営費以外の項目については、青い円より外側であれば、同規模より粗収益、所得が多いということになります。
 農業経営費については、青い円より内側であれば、同規模より...





お宅の経営が過去5年からどのように変化したのか見てみましょう。



客体により異なる

図4 農業粗収益、経営費、所得の経年変化(〇〇様)

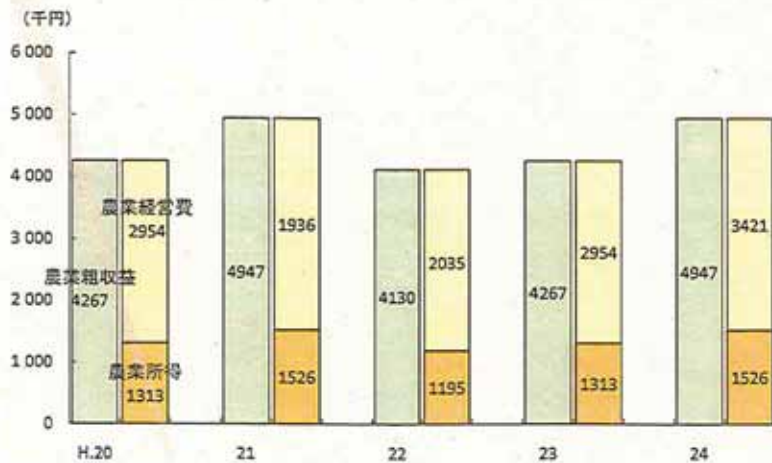
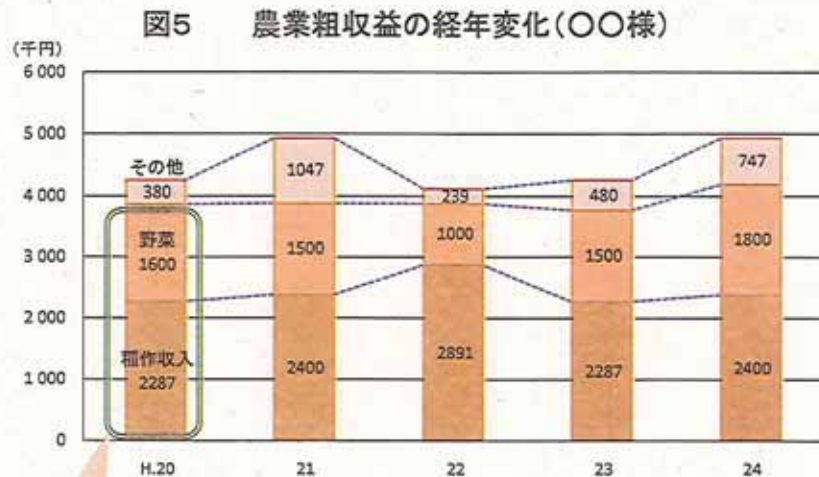


表2 水田作付延べ面積の経年変化(〇〇様)

	H.20	21	22	23	24
水田作付延べ面積 (単位: a)	300	350	350	380	380

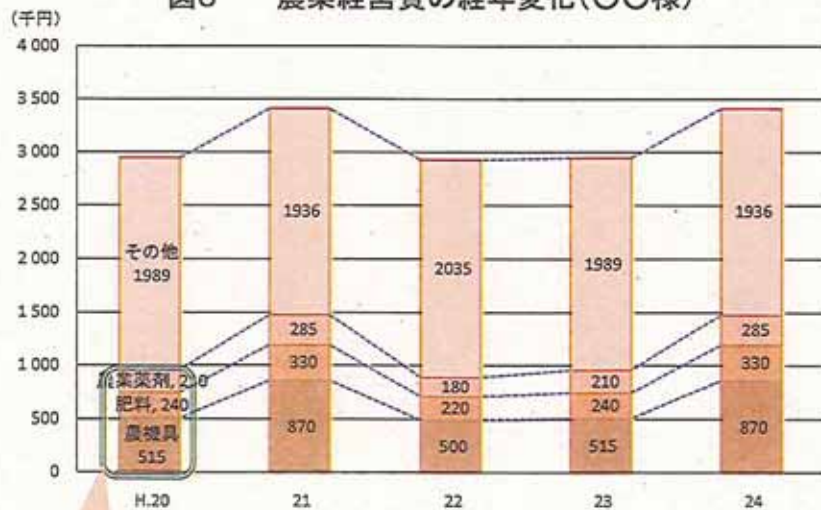


お宅の農業粗収益と農業経営費の内訳の推移を見てみましょう。



上位2位までの収入

図6 農業経営費の経年変化(〇〇様)



上位3位の費目

◎ 当方にて調査を行っている水田作営農類型別経営統計調査客体のうち、地域内容体の経営収支などの調査項目について、項目ごとに5段階に区分した後平均値を算出し表にしました。この5段階区分の中で、〇〇様の各項目の結果がどこに入るのかを表しました。



表3 水田作営農経営 〇〇様の経営水準(その1)(平成21年)

	単位	階層別平均値(総和平均)					〇〇様		
		イ (上位 20%平均 値)	ロ (上位21 ~40%平 均値)	ハ (41~ 60%平 均値)	ニ (下位21 ~40%平 均値)	ホ (下位 20%平均 値)	結果値	経営 水準	
								本年	前年
経営収支	【10a当たり】								
	農業所得	千円	11 028	3 817	1 707	513	△ 471	3 230	□ □
	農業粗収益	〃	32 974	12 635	6 447	3 153	1 130	9 061	□ □
	稲作	〃	17 288	7 023	3 853	1 997	631	5 054	□ □
	農業経営費	〃	21 946	8 818	4 740	2 640	1 601	5 831	□ □
	肥料	〃	11 091	894	480	235	120	641	□ □
	農業薬剤	〃	6 023	454	213	152	83	458	□ □
光熱動力	〃	5 987	403	195	101	55	330	□ □	
分析指標	【経営全体】								
	農業依存度	%	92.4	66.3	40.9	25.2	10.1	88.0	イ イ
	農業所得率	〃	38.2	25.4	19.9	16.7	9.8	36.0	イ イ
	1時間当たり農業所得	円	1 928	1 331	1 033	531	-	1 213	ニ ニ
	延べ面積10a当たり農業所得	〃	4 425	4 517	4 016	2 375	-	5 425	ニ ニ
	【稲作部門】								
1時間当たり農業所得	円	1 543	1 064	826	425	-	970	ニ ニ	
固定資本千円当たり所得	〃	2 074	734	385	155	-	510	□ □	
経営概況	経営耕地	a	2 594	952	512	281	119	626	ハ ハ
	水田作付延べ面積	〃	2 492	845	425	218	79	595	ハ ハ
	水稲作付面積	〃	1 518	631	341	184	67	418	ハ ハ
	10a当たり収量	kg	611	546	509	471	385	525	□ □
	水稲生産量	〃	76 767	31 588	17 554	9 259	3 291	21 949	□ □
	自営農業労働時間	時間	5 719	2 869	1 653	967	423	2 663	□ □

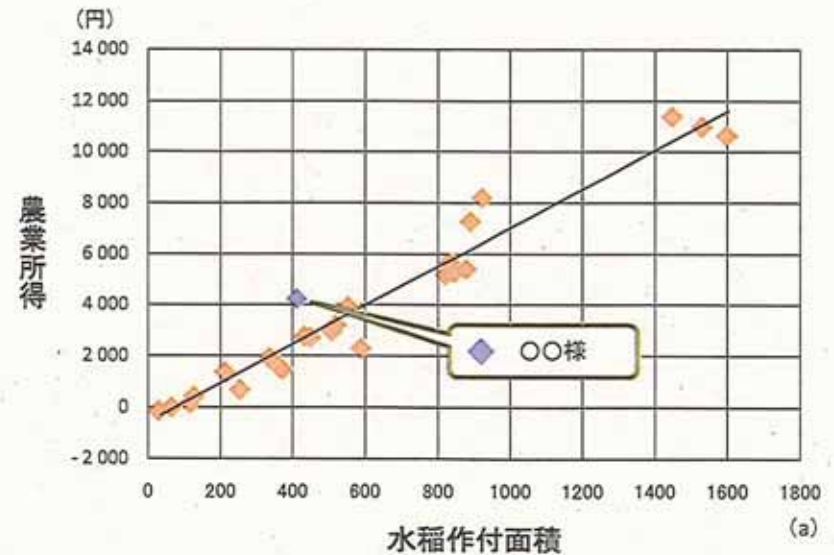
【表の見方】



◎ 地域内の農家の1戸当たり農業所得を水稲作付面積ごとに分布させました。



図7 〇〇様 水田作営農の経営水準(その2)(平成21年)



【グラフの見方】



お宅の生産費の内容

表1 統計表(〇〇様、同規模)

1 生産費総括

単位：(円)

	〇〇様 10a当たり			作付規模1.0~2.0ha 10a当たり		
	21年	20年	対前年増減率 (%)	21年	20年	対前年増減率 (%)
物財費	84 097	85 500	△ 1.6	84 210	89 176	△ 5.6
種苗費	3 547	3 514	0.9	3 871	3 423	13.1
肥料費	10 310	8 738	18.0	10 393	8 819	17.8
農業薬剤費	7 216	6 948	3.9	7 330	7 038	4.1
光熱動力費	3 804	4 827	△ 21.2	3 984	5 024	△ 20.7
その他諸材料費	2 002	1 979	1.2	2 140	2 157	△ 0.8
土地改良及び水利費	5 126	5 493	△ 6.7	4 820	5 536	△ 12.9
賃借料及び料金	11 650	11 921	△ 2.3	10 694	12 163	△ 12.1
物件税及び公課諸負担	2 447	2 572	△ 4.9	2 492	2 845	△ 12.4
建物費	7 010	7 036	△ 0.4	7 229	7 387	△ 2.1
自動車費	4 016	3 817	5.2	3 548	4 263	△ 16.8
農機具費	26 579	28 309	△ 6.1	27 380	30 142	△ 9.2
生産管理費	390	346	12.7	329	379	△ 13.2
労働費	37 456	38 654	△ 3.1	40 959	41 051	△ 0.2
直接労働費	35 704	36 974	△ 3.4	39 174	39 213	△ 0.1
間接労働費	1 752	1 680	4.3	1 785	1 838	△ 2.9
費用合計	121 553	124 154	△ 2.1	125 169	130 227	△ 3.9
副産物価額	2 821	3 220	△ 12.4	2 733	3 225	△ 15.3
生産費	118 732	120 934	△ 1.8	122 436	127 002	△ 3.6
支払利子・支払地代	4 996	5 031	△ 0.7	2 856	2 515	13.6
支払利子・地代算入生産費	123 728	125 965	△ 1.8	125 292	129 517	△ 3.3
自己資本利子・自作地地代	19 706	20 789	△ 5.2	21 446	23 383	△ 8.3
全額算入生産費	143 434	146 754	△ 2.3	146 738	152 900	△ 4.0

語句の説明



2 投下労働時間

単位：(時間)

		〇〇様 10a当たり			作付規模1.0~2.0ha 10a当たり		
		21年	20年	対前年増減率 (%)	21年	20年	対前年増減率 (%)
直接労働時間	種子予措	0.32	0.31	3.2	0.36	0.39	△ 7.7
	育苗	3.21	3.30	△ 2.7	3.45	3.74	△ 7.8
	耕起整地	3.65	3.62	0.8	3.98	3.83	3.9
	基肥	0.79	0.82	△ 3.7	0.85	0.91	△ 6.6
	直まき	0.02	0.02	0.0		0.01	△ 100.0
	田植	3.39	3.49	△ 2.9	3.94	3.85	2.3
	追肥	0.40	0.44	△ 9.1	0.45	0.45	0.0
	除草	1.37	1.38	△ 0.7	1.58	1.46	8.2
	管理	6.48	6.43	0.8	7.31	7.04	3.8
	防除	0.57	0.58	△ 1.7	0.67	0.57	17.5
	刈取脱穀	3.67	3.84	△ 4.4	3.81	3.53	7.9
	乾燥	1.29	1.30	△ 0.8	1.61	1.52	5.9
	生産管理	0.52	0.53	△ 1.9	0.57	0.64	△ 10.9
	計	25.68	26.06	△ 1.5	28.58	27.94	2.3
	間接労働時間		1.27	1.19	6.7	1.34	1.30
労働時間合計		26.95	27.25	△ 1.1	29.92	29.24	2.3
経営管理		0.10	0.10	0.0	0.10	0.13	△ 23.1

3 調査作物収入

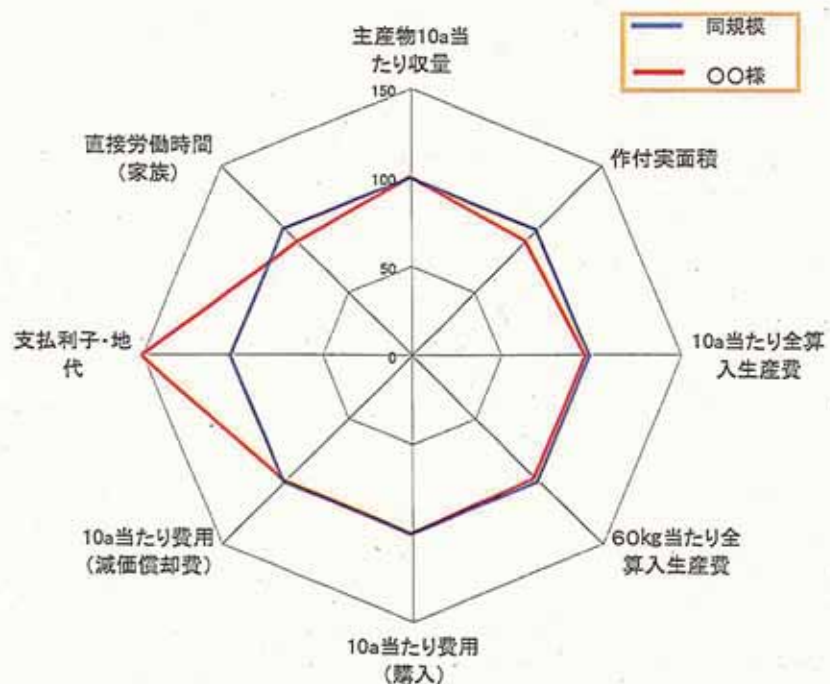
単位：数量(玄米)kg、 価額 円

		〇〇様 10a当たり				作付規模1.0~2.0ha 10a当たり			
		21年		20年		21年		20年	
		数量	価額	数量	価額	数量	価額	数量	価額
主産物	販売	486	106 762	503	111 667	484	105 733	492	111 279
	自家	28	6 143	30	6 747	27	5 936	28	6 555
	計	514	112 905	533	118 414	511	111 669	520	117 834
副産物	くず米	27	2 189	29	2 610	26	2 051	28	2 521
	稲わら	520	632	551	610	520	682	533	704
	計		2 821		3 220		2 733		3 225

語句の説明



図1 収量、作付実面積、生産費等主要項目の比較(同規模平均=100)



◎ 図1は、米の生産における指標となるデータを、同規模を100とした場合と〇〇様の比率をレーダーチャートで示したものです。

生産物10a当たり収量、作付実面積については、青い円より外側であれば、同規模より単収が多く、作付実面積が多いということになります。

10a当たり全額算入生産費などの費用金額と直接労働時間(家族)については、青い円より外側であれば、同規模より生産に要した金額、時間が多いということになります。



図2 全額算入生産費の比較(平成21年)



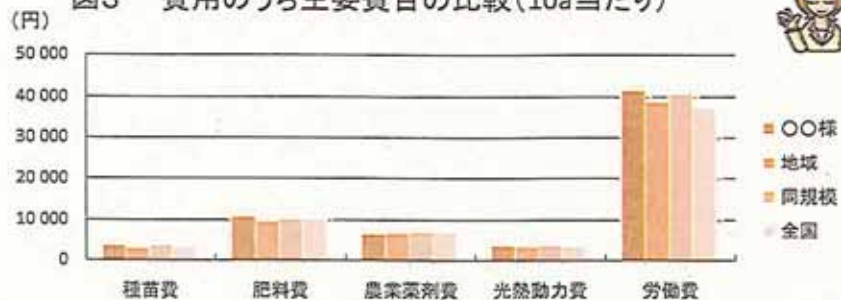
表2 概況の比較(平成21年)

	〇〇様	同地域	同規模	全国
作付実面積(a)	125.4	132.9	145.4	132.9
単位当たり収量(kg)	501	524	511	514
農業投下労働時間(時間)	31.92	28.95	29.92	26.95

【 語句の説明 】

生産費とは、調査対象作物を生産するのに一定単位(10a、60kg)でどれだけの費用がかかったかを表すもので、販売等に要した経費は含みません。
全算入生産費とは、～

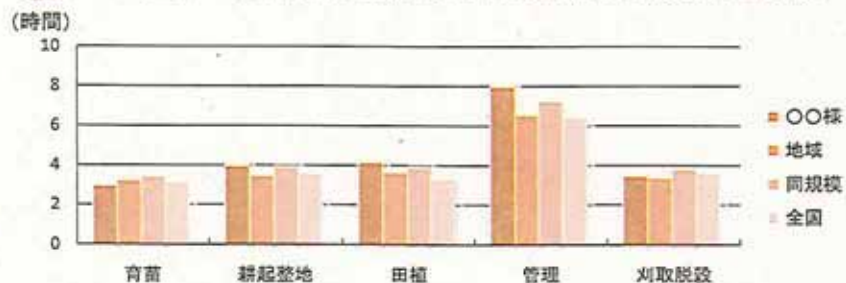
図3 費用のうち主要費目の比較(10a当たり)



◎ 図3は、生産費の費用のうち主要費目について、同地域、同規模、全国と〇〇様の10a当たりのデータを比較したものです。



図4 直接労働時間のうち主要作業の比較(10a当たり)



◎ 図4は、生産費の直接労働時間のうち主要作業について、同地域、同規模、全国と〇〇様の10a当たりのデータを比較したものです。



図5 全額算入生産費の経年変化(〇〇様)

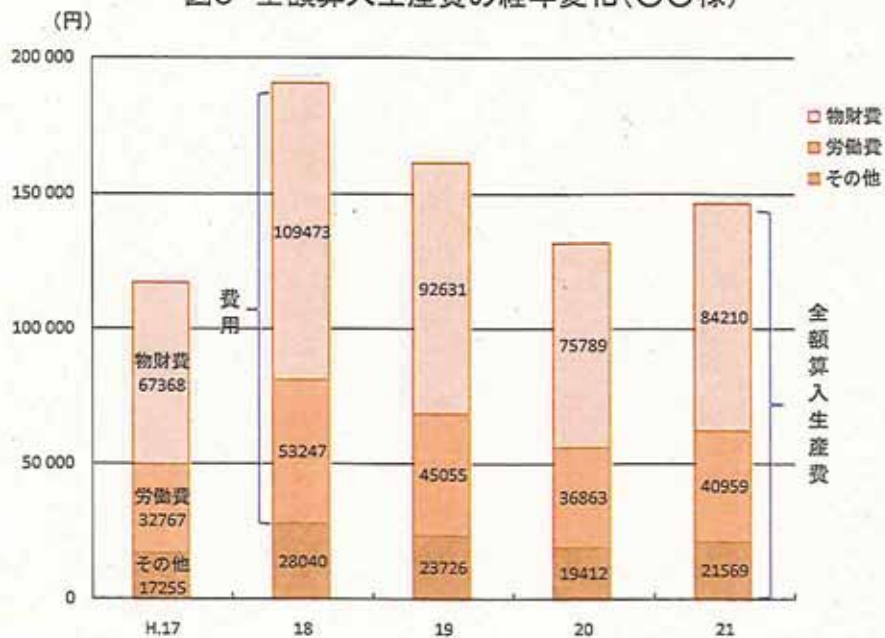


図7 作付実面積及び単位当たり収量の経年変化(〇〇様)

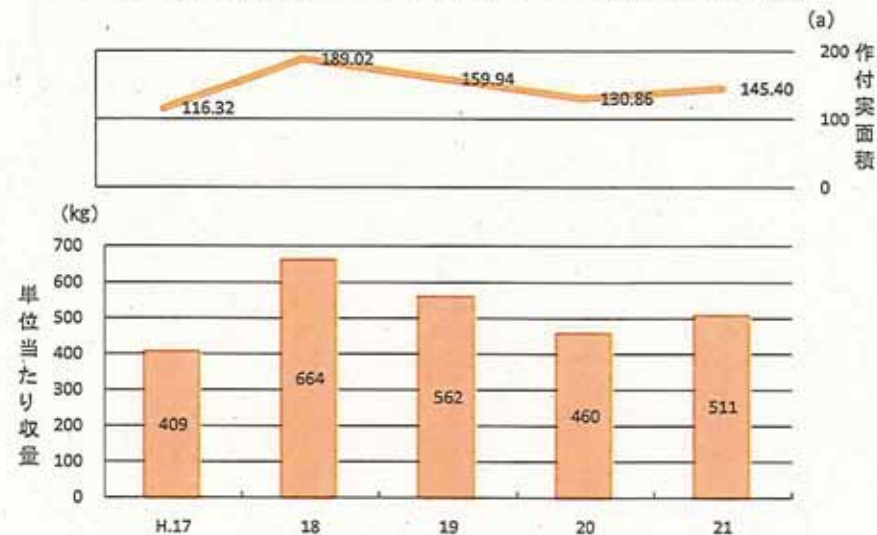


図6 投下労働時間の経年変化(〇〇様)

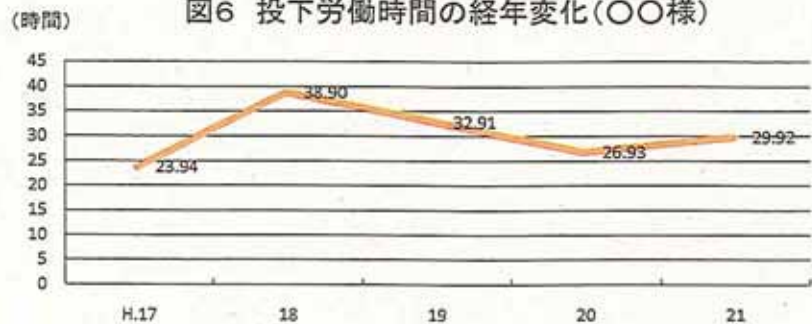
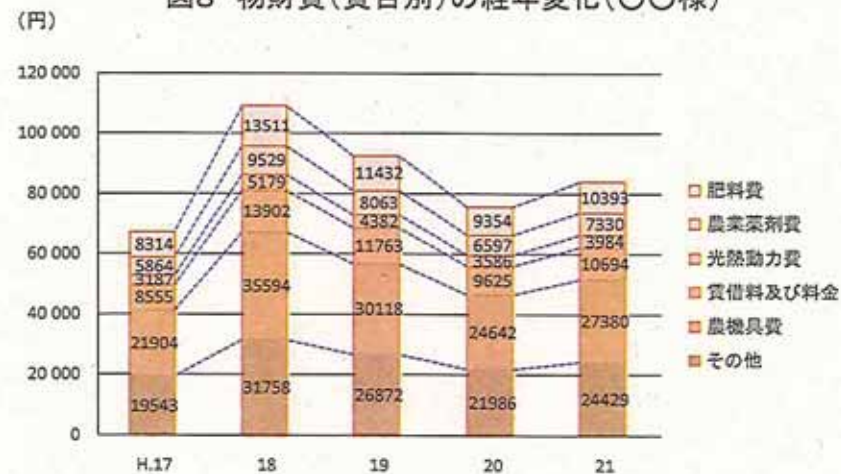


図8 物財費(費目別)の経年変化(〇〇様)



◎ 米生産費統計調査客体の調査項目について、項目ごとに5段階に区分後平均値を算出し表にしました。この5段階区分の中で、〇〇様の各項目の結果がどこに入るのかを表しました。



表3 米生産費調査客体 〇〇様の全額算入生産費水準(その1)
(平成〇年産・10a当たり)

単位: kg, 円, 時間

		階層別平均値(総和平均)					〇〇様			
		イ (上位 20%平均 値)	ロ (上位21 ~40%平 均値)	ハ (41~ 60%平 均値)	ニ (下位21 ~40%平 均値)	ホ (下位 20%平均 値)	結果値	生産費 水準		
								本年	前年	
収入	主産物数量(kg)	537	528	526	507	502	511	ニ	ハ	
	主産物販売価額	108 900	105 300	111 230	107 700	103 500	106 000	ニ	ハ	
生産費	稲収益	111 400	107 700	113 600	108 500	105 500	108 800	ニ	ニ	
	購入	肥料費	6 870	7 640	7 050	8 000	8 750	8 030	ニ	ホ
		農薬薬剤費	5 460	7 050	6 400	6 900	7 650	6 970	ニ	ホ
		光熱動力費	4 150	3 900	3 770	3 900	4 000	3 970	ニ	ニ
		賃借料及び料金	5 500	5 700	7 450	11 000	23 500	5 500	イ	イ
		農機具費	3 800	4 200	4 400	5 000	5 700	4 950	ニ	ハ
	減価償却費	建物	2 300	1 520	2 030	2 200	6 000	4 340	ホ	ホ
		自動車・農機具	11 400	10 600	16 800	17 500	23 000	20 000	ホ	ホ
	労働費	直接労働費	22 900	24 600	29 100	38 500	57 000	38 900	ニ	ニ
		間接労働費	1 700	1 430	1 220	1 700	1 500	1 550	ホ	ニ
	その他	その他の費用	14 320	13 960	15 780	16 300	18 900	21 490	ホ	ニ
		費用合計	78 400	80 600	94 000	111 000	156 000	115 700	ニ	ニ
		生産費合計	98 000	103 700	119 600	135 000	184 000	140 040	ニ	ニ
	労働時間	直接労働時間(時間)	14.8	17.5	20.3	26.8	40	26.8	ニ	ハ
間接労働時間(時間)		0.8	1	1.1	1.1	1.2	1.1	ニ	ニ	

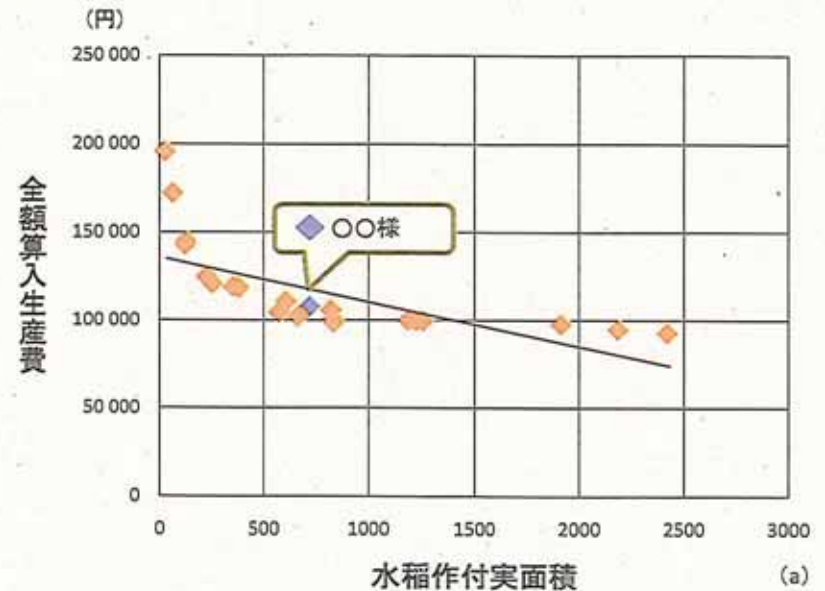
【表の見方】



◎ 米生産費統計調査客体の10a当たり全額算入生産費を水稻作付実面積ごとに分布させました。



図9 米生産費調査客体 〇〇様の全額算入生産費水準(その2)
(平成〇年産・10a当たり)



【グラフの見方】



(例：営農類型別経営統計調査客体用)
【職員聞き取り用】

還元資料要望一覧

〇〇〇〇年	事務所	センター	調査客体		

チェック	整理用	還元する資料一覧	還元 予定時期
<input type="checkbox"/>	1	お宅の調査結果 当年と前年の調査結果（概報） 【記帳していただいた結果を取りまとめます。】	3月頃
<input type="checkbox"/>	2	当年の調査結果との比較分析 経営間比較 【同地域や同規模などとの経営の比較をします。】	10月頃
<input type="checkbox"/>	3	時系列比較 【過去の調査結果との比較をします。】	
<input type="checkbox"/>	4	経営分析 【調査結果の経営水準などを表します。】	
<input type="checkbox"/>	5	テーマに基づいた分析結果の還元 【全国の平均値を用いて、時勢に応じたテーマを分析します。】	12月頃
<input type="checkbox"/>	6	行政・政策資料 【農林水産省の次年度予算に関する情報や施策等のパンフレットなど】 (具体的な内容：)	※
<input type="checkbox"/>	7	地域周辺データ 【作況の公表資料、市場価格、地域の取組事例など】 (具体的な内容：)	※
<input type="checkbox"/>	8	その他 (具体的な内容：)	※
<input type="checkbox"/>		資料還元の方法の要望	
<input type="checkbox"/>		紙の資料で提供	
<input type="checkbox"/>		磁気データをインターネットで送付	
<input type="checkbox"/>		磁気データを磁気媒体で郵送	

注：※は、訪問時期（3、10、12月など）に調査客体の要望する資料に合わせて還元する。